

金蘭会Tokyo

金蘭会東京支部会報

May. 2017 No.24

編集・発行 / 金蘭会東京支部 (大阪府立大手前高等学校同窓会)
事務室 / 設案・阪本法律事務所内
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-7-2 みつわビル 3F
http://kinran-tokyo.in.coocan.jp/



会員だより

変わらぬ温かい ご縁に救われて

菊谷 智恵子(昭和56年卒)

大手前卒業から35年。確かに成績はあまり良くなかったけれど、ごく平凡だったはずの私が予想外の変化に富んだ人生を歩んでいます。大学で東京へ、卒業後ニューヨークへ。様々な境遇が重なり、25年以上も国内外を移り住んでいました。プロードウェイでジャズダンサーを目指し、またある時は西海岸へ。執筆に没頭した時期もあれ

は古着商売に挑戦した時代もありました。ようやく東京に根を下ろせる状況になった時には、すでに50歳目前。業務範囲の広い行政書士なら私でも何か役に立てるのではないかと、3年前に資格取得し、中央区銀座に事務所を開設しました。

金蘭会には4年前より参加しています。音信が途絶えていた私に、同期の役員が声を掛けて続けてくださいました。小説*が出版された際も、同窓の友人や先輩方が応援してくださいました。

* 著書名「コヨーテ・パスル」

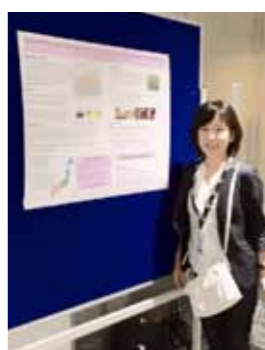


食情報の専門家 「フードアナリスト」

津村 育子(昭和60年卒)
医療政策学修士(MMA)

フードアナリストとして活動し始めて4年目になりました。フードアナリストとは、「食の情報の専門家」と定義されており、飲食店情報や食材、食文化など食を取り巻くあらゆる情報を収集し発信しています。私は、ヘルスケアジャーナリストでもあり、成分にまで踏み込んで学会での講演や専門職の取材をし、Webを中心に学会誌などでも発信しています。また、医療政策管理も学んでおり、街づくりの中で食を中

心とした地域社会でのオール世代の健康づくりを支える活動を計画中です。ヒトのカラダはそれぞれに個性があっても一律に当てはまることはなく食の情報も難しいものがあります。世の中の情報を少しでも整理して、わかりやすく誤解のないように「食の良さ」を伝えていきたいと考えています。食べることが大好きな方にはぴったりの資格だと思います。



Information

● 仲間募集…「二子玉会 (にこたまかい)」

第12回二子玉会は玉川高島屋「寅福」にて開催され、10月23日(日)に初参加4名を含む22名がランチを楽しみました。絶滅危惧種「金蘭」の花言葉の紹介、日展に同級生が入選した話などが飛び交い、学年を超えて交流が広がりました。神代植物公園のボランティアをされている方もあり、ツアー企画も飛び出しました。今年も10月の土日に開催予定です。

連絡先: 竹村 泉(昭和48年卒) TEL. 080-5448-7848
E mail : 426izumi-t@e08.itscom.net



● 仲間募集…「桐蹴会 (サッカー部OB会)」

桐蹴会(大手前高校サッカー部OB会)関東支部の活動は2期目に入りました。1期目は関東OB戦、対外試合、フットサル、懇親会、忘年会等を行いました。2期目もより充実した活動を計画しております。「我こそは関東のロナウド」と自負されている方、「健康のためたまには体を動かしたい」とお考えの方、「走るのキツイので飲み会なら参加」という方々、どなたでも大歓迎です。写真は昨年5月の関東OB戦ですが、ご覧のように20代の若者から70代の先輩まで、同じピッチでプレーしています。汗をかいた後のビールは最高。親子以上にトシが離れていても、サッカーの話や高校時代の話になると大いに盛り上がりです。参加者募集中です!

連絡先: 支部幹事長 白石(昭和55年卒)
E mail : tousanyoshi426@ybb.ne.jp



● 支部会費

年会費は1000円です。総会案内に同封の年会費払込用紙でお支払いをお願いします。詳しくは総会案内に記載されています。なお、終身会費の払込については、現在お取り扱いしていません。

● 3行広告、原稿募集

出版本、個展、講演会、講習会、教室等の有料広告のほか、ご意見、エッセイ、趣味やペットコーナー等原稿も募集しています。

● 金蘭会東京支部ホームページ

http://kinran-tokyo.in.coocan.jp/
支部の最新情報がご覧になれます。東京支部へのお問い合わせ、メールアドレスの登録や変更もホームページからお願いします。

編集後記

たくさんの方の原稿をいただき、編集委員一同、知恵をだしあって編集に取り組みました。読み応えのある内容になりました。有難うございます。DPT担当の方のセンスあるレイアウト、お楽しみください。

東京タワー×歌謡曲 「昭和の思い出」

2016年7月17日(日)、芝公園のザ・プリンスパークタワー東京にて第92回金蘭会東京支部総会が開催されました。2012年にも会場となった東京タワーを間近にのぞむホテルで参加者145名が集い、旧交を温めました。

当番幹事は昭和60年卒の皆さんで、テーブル名には天満橋を始めとする大阪の地下鉄駅名が使われました(前年はJR環状線駅名)。食事はビュッフェ形式(着席)で、料理もデザートも大評判でした。好調な売れ行きに、食いしん坊の某役員も焦りを感じて座席と料理テーブルを何度も往復していました。

イベントでは、幹事学年同期の彩世ゆりさんを招いて歌謡ショーが開催され、懐かしの歌謡曲で参加者を魅了しました。また司会の池田圭一さんのピアノ演奏も迫力で、一層盛り上がりしました。次回当番幹事となる昭和61年卒の皆さんも参加し、来年の支部総会について頼もしく抱負を述べました。

当番幹事を終えて

高松 文雄(昭和60年卒)

私達昭和60年卒が当番幹事を務めた第92回金蘭会東京支部総会は、145名の同窓生が集まる総会となりました。

私自身は、2004年初めて支部総会に出席し、その後度々参加してきましたが、諸先輩方の素晴らしい演出に私たちが幹事学年としてしっかりと役割を果たし、バトンを後輩の皆さんに繋げるの不安感もありました。

懇親会の「彩世ゆり歌謡ショー」では、我々の同期の彩世ゆりさんの素晴らしい歌唱力と池田さんのピアノ演奏による昭和歌謡で会場全体が盛り上がりしました。また総会の準備では、多くの同期の皆さんに参加いただき、またたくさんの方の諸先輩方、支部役員の皆様からの心強いアドバイスを頂きました。多くの皆様のご支援があり、無事総会が終了したことに大変感謝しています。有難うございました。

テーマは「時」

彩世 ゆり(室谷 有利子) (昭和60年卒)

昨年は金蘭会東京支部総会のゲストとしてお招きいただき誠にありがとうございました。ずっと楽屋で待機しておりましたので総会や懇親会の様子は全くわかりませんでした。瞬間とも暖かい空気が包まれた、それまでの和やかな様子を感じ取ることができました。

「時」をテーマに選曲し、同級生の池田圭一さんの素敵なピアノ伴奏で歌わせていただき、とても幸せなひとときとなりました。後半には気持ちよく私の十八番沢田研二さんの曲で盛り上がりたいただきました。

幹事の皆様には準備から大変ご苦勞されたことと思います。本当にありがとうございました。皆様お元気で、今後も金蘭会東京支部が盛り上がりましますように。またお目にかかりましょう。



華やかな衣装と熱唱で盛り上がる彩世ゆりさんの歌謡ショー



司会にピアノに大活躍の池田圭一さん



当番幹事学年の皆さん

● 支部会計報告(平成27年度) (平成27年1月1日~12月31日)

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越	6,330,917	総会補助費	206,794
支部会費	168,000	支部運営費	168,354
(内訳)		(内訳)	
終身会費分	20,000	会議費	15,333
年会費分	148,000	事務所使用料	60,000
		会報作成代	41,600
雑収入	0	通信費・HP費用	0
貯金利息	2,996	送金手数料	22,173
		雑費	8,248
		交通費	21,000
		次期繰越金	6,330,917
合計	6,501,913	合計	6,501,913

知的財産マネジメント人材の育成



弁理士 佐伯とも子さん (昭和41年卒 旧姓・藤井)

2020年東京オリンピックのエンブレムのように、最近、知的財産関連の話題が多くなりました。特許庁、事務所、企業という3つの異なる立場で知的財産分野の長い経験をした私には喜ばしいことです。そのような経験を活かし、知的財産マネジメント人材の育成プログラムを実施するため東京工業大学に着任しました。

知的財産は、民間企業だけでなく、研究機関、団体、大学などあらゆる組織でマネジメントする必要があります。そのマネジメントには、知的財産の法的知識だけでなく、知的財産を創出し保護することにも、知的財産を維持し、その価値を増大させるための知財価値評価、工学的アプローチなどの知識とマネジメント能力が求められます。そのための人材育成を目指すプログラムでした。

知的財産は、民間企業だけでなく、研究機関、団体、大学の知的財産部などに就職し、5年後には30名の修士を輩出してプログラムの目的を達成することができたといえます。その後、イノベーションマネジメント研究科が新設され、改編により現在は、環境・社会理工学(知財)院の知的財産マネジメント分野として引き続き人材の養成を行っています。

大阪大学薬学部卒業、同大学院薬学研究科修了。1972年特許庁入庁、審査官、審判官を経て特許審査第4部医療審査長、1996年特許庁退官後、特許事務所弁理士、(株)ファンケル知財部長を経験。2002年東京工業大学社会理工学研究科教授(人材養成ユニット)、その後イノベーションマネジメント研究科教授、2013年東京工業大学名誉教授。弁理士。

音楽の溢れる国



音楽家、プロデューサー 亀井登志夫さん (昭和45年卒)

1990年からはほぼ20年間、英国ロンドンを活動の拠点としました。大学時代にスタートさせた作曲家としてのキャリアはそれなりに充実していましたが、幼少からの多感期に少なからず影響を受けた文化と、生で向き合って暮らしたいという欲求が日に

とに膨らんでいったのでした。振り返ってみるとそれは大きなエネルギーを必要としましたが、かけがえのない貴重で濃密な時間を過ごせたと思っています。彼の国で暮らして何が良かったかと言うと、生活のいたるところに音楽が溢れていることですね。石を投げればミュージシャンに当たると言われる程、音楽と音楽家が日常的にごく自然にそばにあります。地下鉄の駅構内で普通に演奏されるバスキングから、BBCが毎年主催する世界最大のクラシックの音楽祭と言われるプロムスまで、音楽の送り手と受け手側が一緒に楽しめる場が、それもそんなにお金をかけなくても演奏したり聴いたりする場がとて多いのです。ひっそり音楽愛好家の数が圧倒的なのだと思います。

良い楽器は指一本で叩いていて楽しい、開放感だけを爪弾いても恍惚とできます。いや、そもそも楽器など使わずとも、声がありますね。自分のカラダが空気を震わせて、波動となって聴く人に伝わる。なんと素敵なことでしょう。そんな音楽本来の喜び、素晴らしさをプロ・アマ問わず音楽を目指す人たちに語り続けていきたいなと思っています。

早稲田大学第一文学部演劇科卒。4歳で鈴木慎一ヴァイオリン開始。以後クラシックのみならずヴェンチャーズ、ビートルズ、パートバカラック等、ポップスの洗礼を受ける。大学在学中より作曲活動、プロとしてのキャリアをスタートさせる。1990年よりロンドンに移住。ヨーロッパ、アメリカでも活動。2009年帰国、現在は妻(亀井知永子)とアルファベッティを共同主宰。www.alfabetti.com

東京二七会

昭和二十七年大手前高校卒業生で「東京二七会」の名称で学年会を作っています。創立は定かではありませんが、五十年以上前のことと思われる。最初は年一回の例会でしたが、十数年前から春と秋の年二回催す事になりました。名称は「東京二七会」ですが、遠くは米国コロラド州から毎回の様に参加して下さる御夫妻、大阪からは懐かしい大阪弁と共に近況報告して下さる方々、東京は勿論、神奈川・千葉・埼玉・静岡の近県からの会員で構成されており出席率は毎回六割以上の盛況です。



「東京二七会」傘下の例会 2013

運営は順番制で名簿から男女一名ずつ当番幹事になっていました。七十才を過ぎた頃から処々の理

由で順番制が難しくなり、竹西宗和さんが万年幹事を引き受けてくださって今も「二七会」が存続しております。竹西さんの好意に皆さんも感謝しその熱意に感銘を受けています。(ちなみに私は女性の幹事になっていますが、何もしない当日の集金係です。)

今年春は目黒雅叙園で例会があり秋は横浜中華街を予定しております。皆さんは自分たちが超高齢者だと自覚していないのではないかと思います。皆さん何かに関わっておられる様でそれが元気の源かもしれません。この調子ならまだまだ我等が「二七会」は続いていけると確信しています。

彫塑の世界を知ったのは、11年前の定年2年後の64歳の時であった。平成26年「日展」が大きく変革、「改組第一回日展」として再スタートとなった72歳の年、「駝鳥」を題材に、ほぼ等身大で創作した具象彫刻作品で初出品・初入選をして、この年の高齢記録者になった。



愛・温もり(2016 日展)



同期に囲まれて

駝鳥は容姿がユニークで、造形的に面白く、彫刻で大切なボリューム感のある題材である。駝鳥シリーズ作品で3年連続日展に入選し、新題材の提案作品が認められた事は、制作に注ぐ情熱のみは忘るまじとの励みだと感じている。

そしてこの3年共、関東の同期生が多数鑑賞に訪れてくれた事は本当に有難く感謝一杯である。暫くは、「駝鳥」と一緒に走ってみようと思っている。



9人の勇者たち

大阪マラソン完走!

還暦記念に母校前から出発する大阪マラソンを走ろう! と誰が言い出したか定かではないが、リレ

1マラソン等で楽しんでるメンバーで大阪マラソンにグループエントリーを始めました。今年も還暦から1年過ぎましたが、最大枠の7名で当選。加えて、市民アスリート枠で2名当選と、合計9名で第6回大阪マラソンを走るようになりました。



母校130周年・金蘭会125周年記念祝賀会

母校金蘭会の創立記念祝賀会

昨年11月5日(土)大阪で開催された母校創立130周年・金蘭会創立125周年記念式典に出席しました。

会場のリーガロイヤルホテルには530余名が集い、阪本東京支部長、奥村前副支部長はじめ東京支部会員も多数出席していました。在校生の海外交流報告、吹奏楽部の演奏を微笑ましく聴き、先輩後輩とは世代を超えた大手前の思い出話に大いに盛り上がりました。当日最多出席学年は昭和61年卒



母校130周年・金蘭会125周年記念祝賀会